

自連社内報

自連社内報社
大阪府高槻市
便局留自連大阪

72.8.10

ウラ面の「釜ヶ崎救援会」とは、格別怪しい関係にあるわけではありません。全く怪しくないのですのだ。 自連社内報社

自連ぶっつぷしキャンプ

1日誌より・抄

3日(木) ハヤ一期、初日。何とか間に合うように、と関西近郊の読者には3日夜、招請状の「を送った。」「今、あなたは社員か？」と。が、まあ5日ごろまでは無理だろうと一人合点していた。徹夜呆けで夕方にはダウン。暫くして起こされたときには、アレ!と一瞬思った。やじ馬の久保さん、「ああいうの(社員か?)弱いんや」と生己さん、姫路出身のS君みんな仕事が出てから現れる。偶然やって来た元関係者のX大生協の村木さんを加え、計五名。

仕事の段取りは、二度目の招請状発送に追われて、殆んどできていない。とり合えず、という形で、受信事務、けりきり、原稿清書へ字数計算。要するに「手伝ってもらう」ということではない。9時過ぎ、もう誰も来へんやろ、ということ、コラ片手に集まる。自己紹介、あまりに不十分。その後、11時半ごろまで作業続行。宿泊者3名(内1名徹夜)。

4日(金) 朝から、日終り、はじまる。磯田君、大救済の吉川さん、昼すぎには「何か手伝うことある?」と奈良のTさん。今日も今日とて「けりきり原稿清書、宛名かき」。自分自身あまりよくわからぬ、なぜつづぶすのか、を、どう話し、どうやる、というのか。やるべくしてやらなかったことを、たとえ少しでもやる、それが「つづぶす」ことであり、総括することだ、ということと言える。だが、具体的に、何をどうするのか、わからぬ、わからへんわ。やってくるうちにわかってくる、ということはあるに違いない。うが……。雑談はした。磯田君とは、40号その2で、ハ南北特集、やらへんか、という話もした。けれど、今していることの意味とかについては、ナレ合いのまま。要するに「手伝い」である。

夕方になって、三人と入れ替わるように、小池こと下条さん・村木さん・綿省中のX大生高井君、夜には、生己さん、元、おんな自連、編集長石川さん。仕事はほぼ同じことをやるのだが、入れ替わりはあっても引き継ぎはなし。本日で、釜ヶ崎関係以外に、されたけりきり校へ生己、磯田、村木、石川、黒川、あて名の方は、部数一部で請求も必要ない分、約300は終了。宿泊者へばくの部屋も含む4名(内2名徹夜)。

5日(土) 朝になってから眠たが、暑くて10時前には目が醒める。昼ごろ、これで五千円分にした。吉川さん、「会社遅れたから」と神戸アンボ社の山田さん、「手紙だけではよくわからんので」と東京から加藤さん、そして久保さん。けりきり、封筒貼り、ペンキ塗り、など。夕方、小川こと向井さん、A大体育会某部主将Kさん。早速、編集の会議。向井さんから

「つづぶす」ことの意味など(皇アジトに結集せよ、Aアジト案内、参)。完全につづぶしきるまでやらなかん。それまでは、40号もその3でも4でも出す。一はあ。「あと半年か一年の辛棒やないか」一え。★一日一回編集会議 ★作業記録を具体的に ★東京へは加藤さん経由で発送、などなど。「何度もよび出しが、かって、こううかうかしとられん。火事場泥棒でも、と思って来たが、全然緊迫感ない」と山田さん。ナレ合いで、手伝い、手伝われているからか。

四人帰った後、夕食。K、久保両氏の力レライ。ス。社員食堂開店。あと、いろんな話を交わしながら仕事。★40号その1は千部限定、書店に置かない。★手紙などを優先掲載、既にけりがされていても、★その2、回しにするものあり。宿泊者4名(最長40度)。

6日(日) 金曜、土曜の感じでいくと、人はあふれ近ることになる可能性あり。まして「手紙優先」をはっきり打ち出したので、回数もまわっているけりを横眼に、別のを切らなきやならず、一番人手の要るトジティングなどまで進みそうにない。で、できる仕事は「ッティング、印刷、宛名書きと請求。人が来たら話をして納得づくでやってもらわんと、手伝いいうことでは人が余ってしまう。と、話をくくっていたのだが、幸か不幸か、泊り組以外は誰も来ない。

一人目は向井さん。窓をとっぱらい、釘をうち、物を屋根の上に放り出し……と、昨日以上の向井台風。高井君が来たところまで話をする(台風は去らず)。彼は「自連つづぶすというの、作り手受け取り手という固定した関係をつづぶすということでは」という。Kさんは「ばくとカノジョの関係に似てる。つづけよと思えばつづけられるけど……」などと言う。この頃、大津のTさん来る。数多くの原稿を広げたりなどしながら編集会議。

社員食堂オ二回。下条さん作のカレーライス(またか)。食後、自連には知られている「滝沢さん来る自己紹介、するばかりか、されるのもむづかしい。宿泊3名。夜中に輪転機を回しかけたが、あまりの騒音に中断。シラけて……(略)……。

※ここから、いよいよ佳境にはいるのだが、紙面も尽きたので、つづく。or、未完。

なによ

大阪市北区浪花町15番西救援連絡センター内
釜ヶ崎救援会
振替 大阪38841

統一でなく連合を

自由連合156号収録論文集 価二五〇円
付録・アナ連解散と新自連の出発
申込 大阪市旭区高殿郵便局留 自連大阪